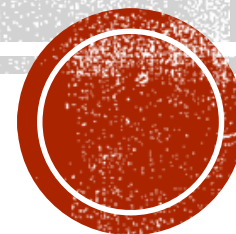


# 令和6年度 高島特別支援学校の災害時等の支援体制



9月6日（金）

第一回「障がい児部会」にて

# 本校が直面する可能性のある災害

## 地震

◆2014年時点の地震調査研究推進本部の予測

- ・今後30年以内に、南関東で  
M7クラスの地震が発生する確率：70%以上

関東大震災（M7.9）、阪神・淡路大震災（M7.3）  
東日本大震災（M9.0）熊本地震（M7.3）

## 水害

本校は、区市町村地域防災計画により、浸水想定地域に立地する要配慮者利用施設に定められている。

：荒川水系の水位が基準値を超え、荒川が氾濫した時には、  
水深3m以上5m未満の浸水が、1～3日継続する。

## 火災

：煙、有毒ガス、熱

## その他の気象災害

「竜巻」、「雹」、「落雷」など





# 板橋区洪水ハザードマップ (荒川版)

高島特別支援学校  
想定浸水深：3～5 m

## 洪水に備えて



- 地区上であなたの家と避難所を確認しましょう。
- あなたの家から避難所までの道順や方向を洪水ハザードマップに書き入れましょう。



- 避難所まで実際歩いてみて避難路を確認しましょう。
- 家族で避難時の行動について話し合っておきましょう。

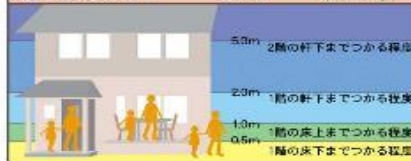


- 避難時の持出し品を日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- ラジオの電池や食料等の備蓄も点検しておきましょう。




- 普段からテレビやラジオで、雨や台風などの情報、区の防災放送に注意しましょう。

▼浸水深の色の見方	浸水深	水深の目安
-----------	-----	-------



## 避難情報

避難指示 （避難指示）	区からの呼びかけの内容（例） ○○地域のみなさん！ ○○川が増水しています。 避難の準備をしてください。	とるべき行動 いつでも避難できるように 避難の準備をしましょう。 ラジオやテレビの放送、 の防災放送に注意しましょう。
避難準備		災害情報は、区内CATV（ ジェイコム関東板橋局コムニ ュティチャンネル）を通して も、提供していきます。
避難勧告	○○地域のみなさん！ ○○川が増えるおそれがありますので、 避難をはじめてください。	お互いに助け合って、指定さ れた避難所に、避難を始めま しょう。 高齢者や 子供に。 早めに対 策をせま しょう。
避難指示（避難命令）	○○地域のみなさん！ ○○川が増えました。 危険ですから直ちに、 避難してください。	指定された避難所にすみや かに避難しましょう。 

## 避難所とは

避難所は、比較的高い場所にある学校などを指定しています。避難所の開設、運営については、防災所と同様に、住民防災組織と区の職員などが中心となって行います。

また、避難所には食糧や毛布など生活に必要な最低限の物資が備蓄されています。

**避難所では** 避難所では共同生活のルールを守りましょう

避難所は、大勢の方が利用します。浸水の状況により、数日間通  
所生活しなければならぬこともあります。ルールを守り、お  
互い助け合って生活するよう心がけましょう。



荒川流域

200年に1回程度発生する規模の洪水  
 荒川流域  
 総雨量548mm  
 降雨日数3日間

凡		例	
洪水時避難所		警 察 署	
区 役 所		消 防 署	
地域センター		都 県 界	
河 川		区 界	
水の深さ 5.0m以上		町 界	
水の深さ 2.0m以上		丁 目 界	
水の深さ 1.0m～2.0m		J R 線	
水の深さ 0.5m～1.0m		私 鉄	
水の深さ 0.5m未満		地 下 鉄	

※全区立小・中学校には、備蓄倉庫・医療救護室が整備されています。  
※避難については浸水状況によって、避難準備・避難勧告・避難指示等の告知を致しますので、区の指示に従って行動してください。

要援患者名簿登録制度を行っております

区では、避難を要するような風水害、震災及び大火災などの発生時に、被害のある方や被災者の方のおしとよりの方などの皆様と暮す時に自力で避難することが困難な方を、同意の上で事前に把握し、名簿化を図っています。名簿は安否確認および災害対策での活用を目的に、警察署、消防署、消防団、住民防災組織及び民生委員に提供することになります。詳しくは、防災課危機管理室までお問い合わせください。

首都高速 5 号池袋線

水害時の問合せ先

・板橋区防災センター	03 (3579) 2211
・防災課危機管理室	03 (3579) 215
・土木部管理課（水防本部）	03 (3579) 2501
・板橋消防署	03 (3964) 0119
・志村消防署	03 (5398) 0119
・板橋警察署	03 (3964) 0110
・志村警察署	03 (3966) 0110
・高島平警察署	03 (3979) 0110

・ARA（荒川情報）ホームページ  
http://www.ara.or.jp/index.htm

1 : 20,000



# 大規模災害発生による停電時



※停電になると、本校体育館棟屋上に設置された自家発電装置が、自動的に起動し、  
使用できるコンセント及び、電灯が「災害時用」のみに切り替わる。



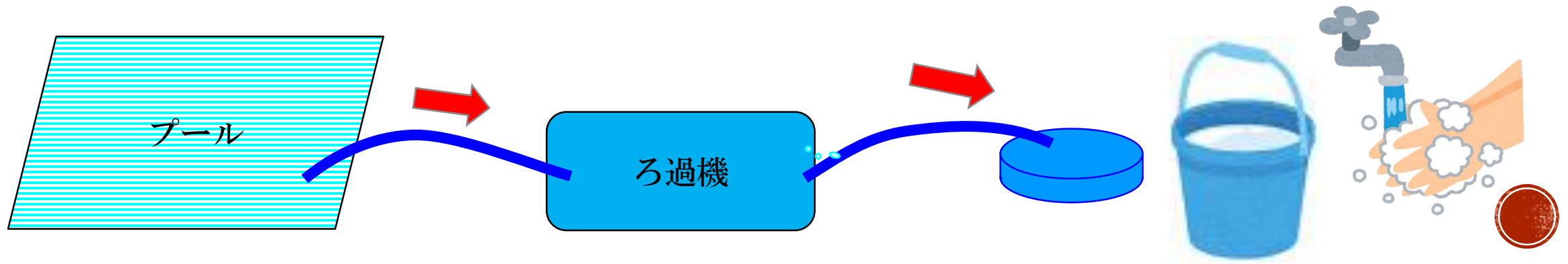
# 大規模災害発生による断水時

## ◆飲料水・調理用水

➡ 備蓄倉庫の2ℓペットボトルの水を使用する

## ◆生活用水（手洗い、洗顔、洗濯、掃除など）

➡ プール水を浄水器でろ過して使用する



# 災害時の対応

本校の防災対策は、児童・生徒の生命と身体の安全を確保  
することを方針の第一とし、大震災や風水害など自然災害、  
地域における大規模火災等、多種多様な危機から児童・生徒  
や都民を守ることを目的とする。

＜学校要覧より抜粋＞

## 災害発生

- ➡ 校長を本部長とした災害対策本部を設置し、防災委員会メンバーを招集する。
- ➡ 災害直後の校舎や児童・生徒の被害状況を即時に把握して学校がとれる対策を検討し、実行に移す。
- ➡ 学校長を本部長とした災害対策本部組織を活用し、全教職員で大規模災害時の対応を行う。



# 発生時間帯による災害対応

時間	午 前												午 後											
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
状況	在 宅							登校	在 校							下校・デイ	在 宅							
地震	<div>◆ 震度6弱以上(23区内で発生)</div> <div><div>特別非常配備体制 ：勤務地に自動参集</div></div> <div>◆ 震度6弱以下</div> <div>：必要に応じて非常配備態勢発令 (メールでの指示連絡を要確認)</div>							◆ 乗車児童・生徒の救護	<div>◆ 児童・生徒の安全確保</div> <div>◆ 施設の安全点検</div> <div>◆ 危険個所、給電・給水対応</div> <div>◆ 保護者に引き取り依頼 (メール配信)</div> <div>◆ 残留児童・生徒の食時、居住スペース確保</div>							◆ 乗車児童・生徒の救護	<div>◆ 震度6弱以上(23区内で発生)</div> <div><div>特別非常配備体制 ：勤務地に自動参集</div></div> <div>◆ 震度6弱以下</div> <div>：必要に応じて非常配備態勢発令 (メールでの指示連絡を要確認)</div>							
水害	◆重要書類、金庫鍵持ち出しと管理 ◆持ち出し重要書類等の記録簿作成 (電子データ、機器を含む)							◆ 乗車児童・生徒の救護	◆ 緊急で避難する必要がある時 (地震による堤防決壊など) →垂直避難：1階の教室にいる児童・生徒は2階以上に避難 ◆ 浸水被害の可能性が高まってきた時(荒川上流での集中豪雨など) → 水平避難：徒歩などで、首都高速5号池袋線より南側に避難							◆ 乗車児童・生徒の救護	◆重要書類、金庫鍵持ち出しと管理 ◆持ち出し重要書類等の記録簿作成 (電子データ、機器を含む)							
火災	メールでの指示連絡を要確認								◆屋外への避難								メールでの指示連絡を要確認							
竜巻など	メールでの指示連絡を要確認								◆屋内で窓から離れ、物陰に避難								メールでの指示連絡を要確認							



# 非常配備体制

重要書類搬出班	〇〇部	<ul style="list-style-type: none"><li>・重要書類（出席簿・連絡網・個人カード）の持ち出し</li><li>・重要書類の安全確保</li><li>・重要書類金庫の鍵の持ち出しと管理</li><li>・持ち出し重要書類等の記録簿作成（電子データ、機器を含む）</li></ul>
救護班	養護教諭 〇〇部	<ul style="list-style-type: none"><li>・けが人への応急救護</li><li>・各種医療機関の被害程度の確認</li><li>・災害時用服薬の持ち出し</li></ul>
連絡班	〇〇主任	<ul style="list-style-type: none"><li>・校舎内逃げ遅れ児童・生徒の確認</li><li>・各家庭へのメール配信</li><li>・電話連絡対応家庭への連絡</li><li>・各学部児童・生徒の安全確保に関する事態の掌握</li></ul>
避難所支援班	〇〇部  〇〇部	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校に保護する児童・生徒の居場所の確保</li><li>・帰宅支援ステーションの開設</li><li>・福祉避難所開設時の制限区域（立入り禁止区域）の設置</li></ul>





# 非常配備体制

食糧班	〇〇部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校に保護する児童・生徒への食事の準備</li><li>・ 非常食、飲料水の数量管理</li><li>・ アレルギー等対応児童・生徒の非常食提供状況管理</li></ul>
スクールバス班	〇〇部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各コースの現在位置の確認</li><li>・ S B、乗車児童・生徒の安全把握</li><li>・ 道路交通情報の収集、状況把握</li><li>・ S B乗車児童・生徒の救出体制連絡調整</li></ul>
施設班	〇〇部 〇〇部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 初期消火活動</li><li>・ 学校施設の安全確認</li><li>・ 危険な場所の確認と安全化</li><li>・ 生活用水、電源の確保</li><li>・ 災害対策本部の行動記録の作成</li><li>・ 避難経路等の決定、誘導</li><li>・ 第二次避難場所等の安全確認</li></ul>
経営企画室	〇〇室	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 重要書類、電子データの安全確保 （水浸しや散逸防止）</li><li>・ 重要書類管理金庫の鍵の持ち出し</li><li>・ 持ち出し重要書類等の記録簿作成</li></ul>



# 避難所としての役割について

- ➡ 学校の被害状況により可能な範囲で、災害時帰宅支援ステーション  
および福祉避難所を開設して都民の安全を守るための対策を講ずる。

## ＜災害時帰宅支援ステーション＞

- ：本校の備蓄倉庫に、災害時帰宅支援用の飲料水（500ml）のペットボトルと、  
携帯トイレが配備されている。

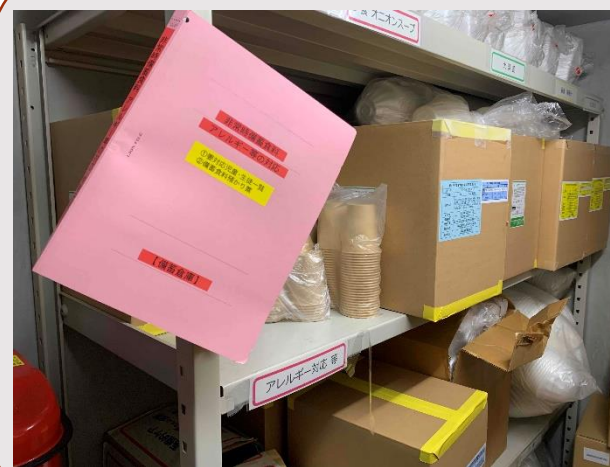
## ＜福祉避難所＞

- ：板橋区立の小中学校等に開設された避難所では受け入れが困難な障害者等について、区が必要とすれば、本校の体育館の一部とプールの更衣室(避難所管理機能維持スペース)を、避難所として使用する。
- ：本校の管理倉庫に福祉避難所開設用の担架や、飲料水、食料などが保管されている。



# 備蓄倉庫

★内容物  
非常食、食器、水、  
調理器具、寝具、発電・照明



アレルギー食も  
保管しています